

令和元年6月14日現在

機関番号：12103

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K16870

研究課題名(和文) 高等教育で求められる手話通訳スキルの研究 話者の論理・態度伝達のための訳出方略

研究課題名(英文) Sign Language Interpretation Skills Required In Higher Education -Strategies for Interpreting The Speaker's Logic and Attitude-

研究代表者

石野 麻衣子 (ISHINO, Maiko)

筑波技術大学・障害者高等教育研究支援センター・特任研究員

研究者番号：50589405

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、聴覚障害学生が高等教育機関で学ぶ際に使用する手話通訳のうち、特に聞き取り通訳(音声日本語から手話への変換)について、どのような訳出技術があれば、話者の論理や態度を正確に伝達できるのかを明らかにすることを目的とした。

この結果、起点談話(原文)の語順通り表出するのではなく、日本語とは異なる言語である手話への翻訳が必要であること、具体的には、主体の態度がより明確になる語彙選択を行う、前後の文の関係性をより明確化する文または接続詞を明確に表出する、数の大小、立場の上下、過去と現在など、対比が明らかな場合は、これを効果的に挿入する、といった訳出方略が明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の結果、高等教育場面において具体的に必要とされる訳出方略が明らかになったことで、今後聴覚障害学生支援の現場で、より質の高い手話通訳の提供が可能になることが期待できる。

また、これまで聴覚障害者福祉向上の観点から、主に生活場面における活用が想定されてきた手話通訳養成においても、本研究で得られた知見も活かして養成することで、手話通訳者が高等教育場面にも対応可能となり、結果、聴覚障害学生の学習環境の質的向上が期待できる。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to clarify how to interpret the speaker's logic and attitude correctly when interpreting from Japanese to sign language in higher education setting.

As a result, it was found that it is important to translate into sign language, which is a language different from Japanese, not expressing in the word order as in the source text. Specifically, the following interpreting skills have become clear.

(1) Choose a vocabulary that makes the subject's attitude clearer. (2) Clearly express sentences or conjunctions that further clarify the relationship between the preceding and subsequent sentences. (3) If the contrast is clear, such as the size of the number, up and down positions, past and present, insert this effectively.

研究分野：障害学生支援

キーワード：手話通訳 通訳者養成 高等教育 障害学生支援 聴覚障害 ろう・難聴

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

高等教育における聴覚障害学生支援は、2016年4月の障害者差別解消法施行にともない、法的義務(国公立大学等)または努力義務(私立大学等)となった。このような背景から、今後高等教育における手話通訳のニーズは高まることが予想されるが、我が国では、高等教育場面で手話通訳が可能な人材の確保が大きな課題であり、高等教育における手話通訳のあり方を明らかにすることは急務である。このうち、日本語を聞き手話に訳出する聞き取り通訳実施の際に重要なのは、話者の論理や態度の伝達であると考えられているが、どのような訳出技術がそれを可能にするのかは明らかではない。

また、高等教育場面における手話通訳を実現するための体制、及び手話通訳者養成に必要なプログラムを明らかにすることは、我が国にとって急務である。

### 2. 研究の目的

上記のような背景があり、高等教育場面の手話通訳における訳出技術を明らかにすることは急務である。よって本研究は、手話通訳を撮影したメディア素材(モデル手話通訳映像)を活用し、聴覚障害者の評価及び訳出の分析を行うことで、高等教育場面における手話による聞き取り通訳の方略を、「話者の論理や態度の伝達」の視点から明らかにすることを目的とする。

また、高等教育において求められる手話通訳の体制及び養成についても明らかにすることを目的とする。

### 3. 研究の方法

#### (1) 話者の論理や態度の伝達のための訳出方略分析

##### モデル手話通訳の撮影

対象とした手話通訳者は、高等教育機関における手話通訳経験のある手話通訳士6名とした。起点談話は、事前に収録した講義「哲学」のうち20分間とした。資料をもとに事前学習を行った上で、音声日本語から手話に通訳する様子をビデオカメラにより収録し、特に起承転結のはっきりした約5分間をモデル手話通訳映像(以下、通訳A~F)とした。

##### 聴覚障害者による評価の実施

対象とした聴覚障害者は、手話通訳を用いて大学院を修了、または手話を用いて大学院で学んでいる聴覚障害者6名とした。対象者には、1週間前に資料及び講義の文字起こしを提供し、事前に内容を把握するよう依頼した。評価は、モデル手話通訳映像の視聴と評価を6名分繰り返し行った。評価にあたっては、日本聴覚障害学生高等教育ネットワーク(2012)より「大学における手話通訳チェック表」を用い、5段階で評価した。本研究では、このうち論理や態度の伝達に関する4項目について、結果を比較した。

##### 訳出の分析

通訳題材のうち論理展開が明確な約5分間を起点談話とし、各モデル手話通訳映像の該当部分を分析対象とした。分析は、映像等に脚注を挿入する機能を持つソフトウェアであるELAN(開発: マックスプランク心理言語学研究所)を用い、語彙ラベル及び補足記号を用いて書き起こしを行った。語彙ラベル及び補足記号の凡例は表1の通り。

表1 語彙ラベル凡例

表記	意味
/○○/	語彙ラベル及び文法要素の1つの単位
改行	文の区切り
FS(○○)	指文字(指文字で表出した単語)
PT(○○)	指さし(指さしが示す単語)
PT3(○○)	第3人称(第3人称が示す単語)
動詞(数字 数字)	動詞の動き。(3 1)の場合は、第3人称から第1人称の方向に動いたことになり、単語が受動態で表出されたことを意味する。
(○○)	非手指動作、補足説明

分析は2段階で行い、まず約5分間の起点談話について、話題の区切りを特定し、それぞれの主題と、主題に関する説明のポイントとなる要素を特定した。次に、主題及び主題に関する説明について、各モデル手話通訳の訳出結果を、訳出あり(必要な要素を訳出している)または訳出なしに分類し、各通訳者の訳出率を算出した。訳出なしには、誤訳(間違った訳出)や減訳(不十分な訳出)も含むものとした。

次に、で評価の差が最も大きかったモデル手話通訳間で訳出を比較し、特徴を明らかにした。

## (2) 高等教育において求められる手話通訳体制及び養成

大学内の手話通訳体制が充実し、かつ手話通訳者養成カリキュラムを持つ、米国ギャロデッド大学の実態を調査し、どのように専門的な分野の通訳を実現しているか、また手話通訳養成をどのように行っているかを明らかにした。

調査の概要を以下に示す。

- ・ 期間  
平成 30 年 3 月 3 日～3 月 13 日（移動日含む）
- ・ 調査地  
ギャロデッド大学（米国ワシントン D.C.）
- ・ 調査内容  
ギャロデッド大学の情報保障担当部署（Gallaudet Interpreting Service ; GIS）における調査  
対象者：ディレクター Mr.Jeffrey Hardison  
手話通訳者 Ms.Loriel Dutton、Ms.Kari Bahl、Ms.Diana Markel  
ギャロデッド大学 手話通訳学科における調査  
対象者：手話通訳学科 学科長 Dr.Keith Cagl  
手話通訳学科授業見学 他
- ・ 調査担当者 筆者

## 4 . 研究成果

### (1) 話者の論理や態度の伝達のための訳出方略分析

起点談話における主題及び主題に関する説明の訳出の分析

高等教育の講義を題材にした同一起点談話に対する訳出は、訳出方略に幅があることが明らかになった。少ない語彙数で、起点談話に近い語順で訳出した場合、主に「語または文の省略」によって主題または主題に関する説明が落ちていた。一方、語彙数が多く、起点談話の語順と必ずしも一致しない通訳の場合、主題の訳出はなされるものの、主題に関する説明は「語または文レベルの言い換え」によって訳出率が落ちる訳出方略が存在した。これは、日本語から手話への翻訳の過程で生じたものと考えられる。ただし、翻訳しても主題に対する説明が漏れなく訳出される訳出方略も存在した。

さらに訳出を詳細に分析した結果、高等教育の講義における音声日本語から手話への通訳では、主題や主題に関する説明を訳出する際に ア) 起点談話の文意や起点談話内に登場するものの関係性を明確に伝えるための翻訳を行うことが重要であること イ) 講義における発話では、学術用語やこれを用いた文が存在し、起点談話の単語や語順を大きく変えた翻訳をすると、これらが落ちてしまうことに考慮する必要があること ウ) ただしイ) に考慮した結果、起点談話の語順に近い訳出をすると日本手話としては伝わりにくくなるため、専門用語やこれを用いた文と手話による訳出を聴覚障害学生がリンクさせるための補助の役割としての加訳を行う必要があること、の 3 点が明らかになった。

### 高評価な訳出と低評価な訳出の比較

聴覚障害者による評価の結果、通訳 A、B、F の評価が低く、通訳 C が中間、通訳 E、D の評価が高かった（表 2）。通訳の違いを要因とする 1 要因通訳間分散分析を行ったところ、通訳の違いによる主効果が有意であった [  $F(5, 138)=52.28, p<.05$  ]。通訳間の評価の差について、Bonferroni 法による多重比較を行ったところ、通訳 A、B、F と通訳 C、D、E の間に有意差が認められ ( $p<.05$ )、通訳 C と通訳 E の間にも有意差が認められた ( $p<.05$ )。他の通訳間については、有意差は認められなかった。

最も評価の低かった通訳 A と、最も評価の高かった通訳 D の訳出を比較した結果、通訳 D はエ) 主体の態度がより明確になる語彙選択を行う（例：表 3 下線部）オ) 前後の文の関係性をより明確化する文または接続詞を明確に表出する（例：表 3 波線部）カ) 数の大小、立場の上下、過去と現在など、対比が明らかな場合は、これを効果的に挿入している（例：表 3 二重線部）という特徴が見られた。

表 2 通訳評価

通訳	平均値
通訳 A	1.38
通訳 B	2.13
通訳 C	3.42
通訳 D	4.42
通訳 E	4.08
通訳 F	1.92
総和	2.89

表3 訳出比較例

<p>【原文】          ま、こういう考え方があって、それに基づいて、ナチス・ヒトラーがいわばそれを純化していった、というふうには言っていないと思いますが、ブラッツはこういうわけですね、社会の逆淘汰の解決策。社会の逆淘汰っていうのはどういうことかっていうと、こういうことですね。          社会は、知能の優れた人間が一握りで、圧倒的な多くは知能の低い労働者階級だと。で、そういう労働者階級が社会を支配していくようになってしまふのを逆淘汰っていうわけですね。</p>	<p>【通訳 A】          /FS(ブラッツ)/考える/方法/PT3/表す(3 1)/ある/ヒトラー(/ひげ/右手を上げる)/PT3(ヒトラー)/考える/見る/へえ/なるほど/考える/もっと/きれい/化/行く/やる/方法/ある/社会/逆/除く/除く/除く/逆/FS(トウタ)/除く/除く/社会/意味/言う/社会/PT(社会)/賢い/人々/少しPT(少し)/人々/多い/周り/頭/遅い/動物/並み/人々/集団/多い/労働/人々/ある/労働/人々/ある/PT(人々)/社会/増やす(首振り)/逆/除く/除く/除く/言う/</p>	<p>【通訳 D】          /PT(資料)/FS(ブラ)/男/賢い/学/PT(優生学)/考える/方法/書く/PT(資料)/ドイツ/もっと/鋭い/考える/PT3/取り込む/ナチス/進める/やる/書く/2/目/読む/社会/FS(/)/逆/なくす/PT(なくす)/書く/PT(資料)/  <u>書く/文/意味/何/言う/</u>  <u>/社会/言う/賢い/良い/拍手/言う/人々/一握り/周り/ほとんど/人々/賢い(首をかきあげる)/</u>  <u>下/言う/労働/者/従う/みんな/(一握りのまわり)/PT(一握りのまわり)/社会/乗り出す/中心/(上の立場の人間)/何/(上の人間を)押し倒す/必要/PT(押し倒す)/(下の人間が上がる)/PT(下の人間が上がる)/逆/つぶす/言う/逆/なくす/言う/方法/PT(逆淘汰)/やる/</u></p>
--	---	---

先行研究では、高等教育場面での聞き取り通訳（音声日本語から手話への変換）において、論理や態度の伝達が重要であること、そのための翻訳が重要であることが指摘されていた。しかし、具体的にどのような技術がそれを実現するのかは、明らかではなかった。

本研究の結果、先述の通り具体的に必要とされる訳出方略が明らかになったことで、今後聴覚障害学生支援の現場で、より質の高い手話通訳の提供が可能になることが期待できる。また、これまで聴覚障害者福祉向上の観点から、主に生活場面における活用が想定されてきた手話通訳養成においても、本研究で得られた知見も活かして養成することで、手話通訳者が高等教育場面にも対応可能となり、結果、聴覚障害学生の学習環境の質的向上が期待できる。

## (2)高等教育において求められる手話通訳体制及び養成

本調査は、高等教育場面の専門性の高い手話通訳を実現するために必要な取り組みを、通訳体制と通訳者養成の両面から明らかにすることを目的に、先進的な取り組みを行う米国ギャローデッド大学において調査を行った。

まず、学内の通訳体制については、5年以上の通訳経験を持つ通訳者を雇用し、さらに個々のニーズに合わせた研修、通訳者全体への研修、メンタリングプログラムを組むことで、高度専門領域に対応していた。個々のニーズに応じた研修は、その時受け持っている内容と関連する講義の受講や、司法通訳者をめざす通訳者はこれに関連した外部研修の受講など、専門分野の知識の強化を目的としていた。同時に、通訳者全体への研修やメンタリングプログラムに参加することで、技術的な向上も期待することができる。

手話通訳者の養成プログラムにおいては、特に医療、司法、教育等の専門分野の授業が設置されており、各分野の知識の習得とディスコース分析に重点が置かれている。手話通訳者が入ることによるダイナミクスの変化を知り、さらに、どのように訳出するべきなのかを知識と関連づけながら考えることができるプログラムとなっている。

高等教育のような高度専門領域の手話通訳では、話者の論理や態度を正確に手話通訳者がつかみ、伝達することが求められる。これを実現するため、ギャローデッド大学では、学内の通訳体制、通訳者養成プログラムともに「専門知識の習得」と「通訳技術の取得」が両輪となって運営されていると言える。

我が国は、大学における手話通訳者養成はごく一部を除き行われておらず、そのほとんどが地域コミュニティで行われている。また、一般的な様相として、一定程度の通訳技術を習得したあとの手話通訳者向け研修は、通訳技術について取り上げられることが多い。同大との単純な比較はできないが、我が国においても専門分野における手話通訳ニーズが高まりを見せる今、専門分野の知識の習得と、その分野のディスコースを理解し訳出する技術を並行して学ぶ研修のあり方が、今後検討されるべきである。

## <参考文献>

日本聴覚障害学生高等教育ネットワーク(PEPNet-Japan)情報保障評価事業(手話通訳)ワーキンググループ(2012)大学での手話通訳ガイドブック 聴覚障害学生のニーズに応えよう!

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計2件)

- 石野麻衣子 (2017) 高等教育における手話通訳の訳出 主題と主題に関する説明に注目して  
. 査読あり, 日本手話通訳士協会・日本手話通訳学会 研究紀要, 15, 36-44.  
<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/repo/dspace/handle/10460/1953>
- 石野麻衣子 (2019) 高等教育における手話通訳実施のための体制及び養成に関する一考察  
ギャローデッド大学における実態調査報告 . 査読なし, 筑波技術大学テクノレポート, 26,  
63-68.  
<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/repo/dspace/handle/10460/1929>

〔学会発表〕(計3件)

- 石野麻衣子・白澤麻弓 (2017) 高等教育における手話通訳の訳出傾向 主題と主題に関する  
説明に注目して . 第15回日本手話通訳学会 .
- 石野麻衣子 (2018) Gallaudet 大学における手話通訳の実態 . 全国高等教育障害学生支援協  
議会第4回大会 .
- 石野麻衣子 (2019) 高等教育場面の手話通訳における論理・態度伝達に関する一考察 . 第17  
回日本手話通訳学会 .

## 6. 研究組織

(1) 研究分担者

なし

(2) 研究協力者

研究協力者氏名: 白澤 麻弓

ローマ字氏名: (SHIRASAWA, Mayumi)

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。